

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

専門分野区分	ネットワーク	科目名	ネットワーク特論					科目コード	T1440C2	
配当期	後期	授業実施形態	通常					単位数	4 単位	
担当教員名	白石 雅義	履修グループ	4A(SN)					授業方法	講義	
実務経験の内容	システムエンジニアとしてIT企業でLinux サーバの設計・構築・運用のフェーズにおける15年の各実務経験を活かし、設計に始まり運用に至るまでのインフラ構築の全てのフェーズのネットワークの現場の在り方を俯瞰的に見渡してきた経験を元に、実務に即した実践的なネットワーク運用に関する講義を実施します。									
学習一般目標	ネットワークが広く普及した今、その重要性が増すとともに「単につなぐ」から「安全につなぐ」「安全に使う」ことが強く求められるようになってきている今、いろいろな新しいニーズとサービスが生まれてきています。今後もますます多様化、複雑化しながら発展を続けていくでしょうし、利用者のニーズに対応した新しい技術が絶えず生み出されていくはずでです。ネットワーク特論では、コンピュータネットワークやインターネットを「安全につなぐ」「安全に使う」ためのタスクとスキル習得できるように授業を進め、ネットワークエンジニアとしてネットワーク運用について学び、将来現場で活かすための足がかりを得ると共に、その全体像を把握できるようにすることで、これからのICT社会のネットワーク分野での発展に貢献できるようにすることを期待しています									
授業の概要および学習上の助言	運用業務に必要なタスクとスキルを元に、様々な運用・監視・監視・保守などについて学んでもらいます。将来の業務に直結する部分も多く出てくるので、少し先にある業務を意識して学習を重ねてください。									
教科書および参考書	適宜資料を配布しながら授業をすすめるので教科書の指定はありません。									
履修に必要な予備知識や技能	コンピュータネットワークやインターネットの基礎技術や基本的な用語を理解し、運用・監視・監視・保守などに興味を持って授業に望む事が望ましいです。									
使用機器	講義形式の授業なので原則必要はありませんがUNIPAを開く持ち込みノートPCの準備をお願いします。									
使用ソフト	講義形式の授業なのでありません。									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	ネットワークの運用と管理監視・保守についての諸業務の理解を深める								
	1	実務を想定した課題の提示を重ねていく中で理解を深めていく								
	1	ネットワーク運用に関するトラブル切り分けの理解に務めていく								
	2	ネットワーク運用に必要なタスク・スキルを用いた問題解決能力とその応用力を身につける事ができる								
5	最新のネットワークの事情・状況に対しての知識を深めていくためのアンテナを張る興味を持つ事ができる									
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解			30	20				30
		2.思考・判断			30	10				40
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							10	10
総合評価割合				60	30			10	100	

評価の要点	
評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	試験は行いません毎回課題を出しますので提出をお願いします
小テスト	適時、クイズ形式で問いかけします
レポート	毎度のレポート提出で理解度を確認します
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	自ら継続して学習することは、キャリアを形成の重要な要素です 授業出席は継続学習の基本であり、積極的に授業に参加することによって、スキルアップが可能になります

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	授業の進め方説明、運用管理の全体像と定常・非定常業務タスクの説明	講義	都度課題を課します
第2回	構成管理1	講義	都度課題を課します
第3回	資材管理	講義	都度課題を課します
第4回	性能管理	講義	都度課題を課します
第5回	稼働管理	講義	都度課題を課します
第6回	構成管理2、変更管理	講義	都度課題を課します
第7回	構成管理3、変更管理	講義	都度課題を課します
第8回	配布管理、問題管理	講義	都度課題を課します
第9回	問題管理	講義	都度課題を課します
第10回	回復管理	講義	都度課題を課します
第11回	機密管理	講義	都度課題を課します
第12回	ヘルプデスク・コールセンターと障害エスカレーション	講義	都度課題を課します
第13回	ステークホルダーとの関わり、総まとめ	講義	都度課題を課します
第14回	課題解決型授業1	実施時期:5期	期日中に別途指示します
第15回	課題解決型授業2	実施時期:7期	期日中に別途指示します